

アクモスグループの新鮮情報をお伝えするIRマガジン

ACMOS HIGHWAY

アクモス ハイウェイ

Top Message

再生から成長、創出へ

事業の進化とサービス価値の向上により、安定的収益確保を目指す

アクモスジャンクション

グループ会社 中期経営計画特集

アクモス 株式会社

証券コード：6888

2013
Vol.10

再生から成長、創出へ

事業の進化とサービス価値の向上により、 安定的収益確保を目指す

第22期を振り返って

■ 2つのテーマ「事業再構築」と「新規事業創出」

第22期は、「事業再構築」と「新規事業創出」の2つをテーマに、事業環境の変化への適応と収益性の向上を目標に掲げ事業を進めてまいりました。

「事業再構築」では、自社の強みを活かすため、お客様ごとに事業部を再編し、お客様のニーズに迅速に対応できる体制を整えました。しかし、主要なお客様の需要の変化の中で、新たな需要を創出するまでには至りませんでした。お客様への訴求度を高めることが、ITソリューション事業の再構築につながると考えております。

「新規事業創出」では、2012年12月より当社のシステムインテグレーション関連製品の共通ブランド名として「SYMPROBUS（シンプロバス）」の使用を開始し、商標を取得いたしました。CTI*1とGIS*2を活用したシステムに信頼性の高い既存機器を組み合

代表取締役社長

飯島 秀幸

わせ、省スペース・ローコスト・高拡張性を実現した消防通信指令システム（SYMPROBUS Fシリーズ）を中心に、全国の消防本部向けに営業活動をしてまいりましたが、競合製品に比べ、当社の製品はまだ認知度が高くなく、第22期は1消防本部の受注にとどまることとなりました。この結果は、課題として重く受け止め、第23期へ引き継いでまいります。

GIS製品では、2012年10月に社名変更をし、事業を再開したASロカス株式会社が、株式会社昭文社デジタルソリューションの国内事業の一部を2013年6月1日付で吸収分割により承継いたしました。

また、株式会社エクスカルは、期中に持分法適用会社となりましたが、米国パートナー企業の投資方針の変更により、2013年6月26日付で全株式を取

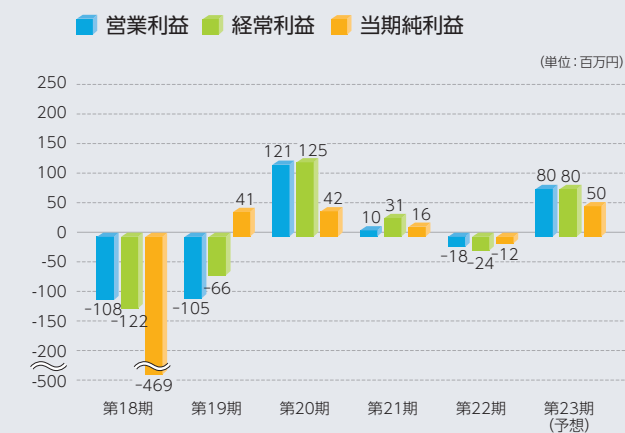
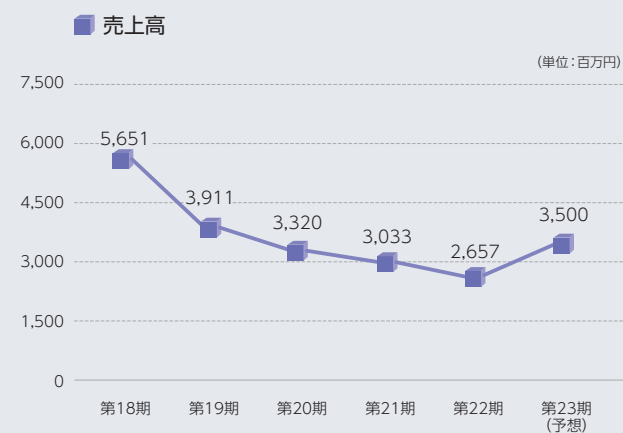
得し、100%子会社となっております。

※1 CTI（Computer Telephony Integration System）…電話とコンピュータの統合システム

※2 GIS（Geographic Information System）…地理情報システム

■ 業績について

第22期の業績につきましては、官公庁からの受注が減少したことや、お客様からの発注金額の抑制傾向が続いていることから、売上高は2,657百万円（前期比12.4%減）となりました。営業ベースでは、売上高の減少と新規事業の立ち上がりの遅れにより、営業損失18百万円（前期は営業利益10百万円）となりました。また、経常損失24百万円（前期は経常利益31百万円）、当期純損失12百万円（前期は当期純利益16百万円）となりました。



中期経営計画 (2013/07~2016/06)

「再生から成長、創造へ」



◆キーワード



新中期経営計画について

■テーマは「再生から成長、創造へ」

当社は、2013年8月2日に新中期経営計画を発表いたしました。当社及びグループ会社4社がそれぞれ作成した中期計画に基づき、会社の進むべき方向性と経営目標実現のための戦略及びアクションプランを遂行してまいります。

今回の中期経営計画のテーマは、「再生から成長、創造へ」です。

第22期の反省を踏まえ、「事業再構築」のテーマを掘り下げて、「再生」を果たすことが中期目標達成のために避けて通れない道という認識をベースに、

第23期は「再生」に取り組みます。

第23期の「再生」が実現すれば、第24期以降は「成長・創造」を目標に、時流の変化を事業に取り込み成長戦略に打って出ます。

“時流の変化”とは、「所有から利用」へ、つまり企業のIT投資対象が自社のシステム開発から、クラウドサービス利用へ変化しているという事業環境の変化と、「PCからスマートデバイス」へというIT利用環境の変化の2つと捉えています。当社グループが得意としている社会インフラシステム分野に、時流の変化に対応したソリューションを提案することにより、成長を実現していくことが、中期経営計画の骨子となります。

中期経営計画では3つの基本方針を定めました。

事業の進化

専門性強化、成長分野の取り込みにより、事業の進化を図る

サービス価値の向上

人財力・技術力アップにより、サービス価値の向上を目指す

安定的収益力の確保

お客様の事業の成功に貢献し、安定的収益力を確保する

第23期は、事業の進化につながる再生が大きなテーマとなります。とりわけ既存事業の競争力強化と、それを支える社員活性化を通じ、専門性を強めていくことが不可欠です。人事制度は事業の進化を支える仕組みとして、刷新に取り組みます。

また、成長分野の取り込みのため、スマートデバイスやクラウド関連事業の創出や、グループ会社間の協業にも力を入れていきたいと考えております。

「〇〇ならアクモス」と指名されるパートナーとして、お客様事業の成功に貢献してまいります。

数値目標

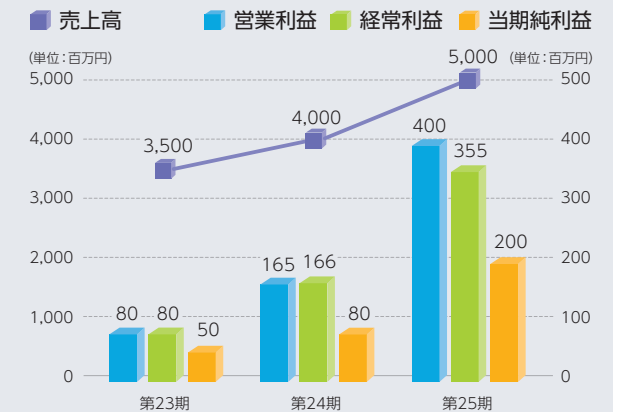
売上高目標

第23期は35億円、第25期は50億円を目標に進めてまいります。

営業利益目標

第23期は80百万円、第25期は400百万円を目標とします。

3か年経営目標推移



株主のみなさまへ

平素より株主のみなさまには、格別のご高配を賜りありがとうございます。

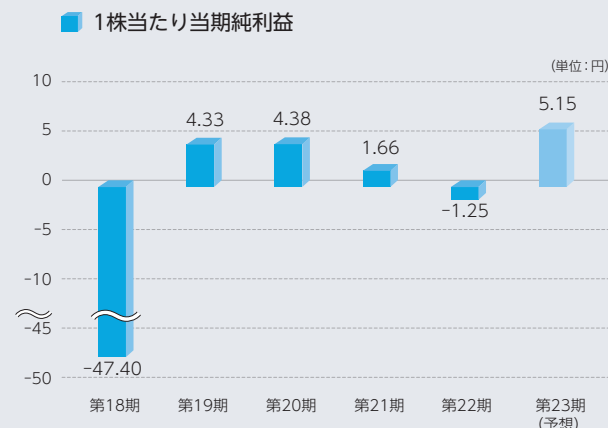
当社は「株主さまへの持続的な利益還元」を基本方針の一つとして取り組んでまいりました。第22期は、連結当期純利益は損失となりましたが、当社単体ではなんとか32百万円の利益を出すことができました。当初予想した配当額には及びませんが、前期と同じ1株当たり100円を配当いたします。

第23期は、予想通り目標が達成できれば、百分割により1株当たり1円（前期基準なら100円）の配当を予定しております。

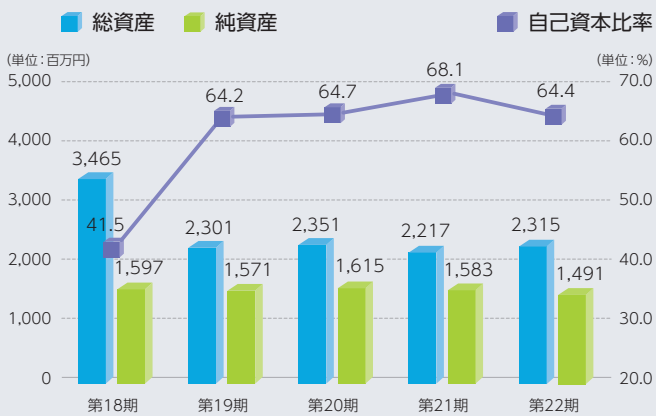
第23期は、会社分割により譲り受けたASロカス株式会社の事業を本格的に開始いたします。ASロカ

ス株式会社が営んでいるのは、地理情報をデジタル化するGIS事業です。現在、当社の消防通信指令システムにもASロカス株式会社のGISを採用しており、今後GISを使ったスマートデバイスでのアプリケーション開発を推進してまいります。社会インフラシステムにスマートデバイスが使われ始めている昨今、このアライアンスで新たなビジネスチャンスが生まれると期待しています。

株主のみなさまには、引き続き変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。



※当社は、2013年7月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。比較のため、1株当たり当期純利益の金額は、第18期期首に当該分割が行われたと仮定して算定いたします。



※自己資本比率 = 自己資本 (純資産 - 新株予約権 - 少数株主持分) / 総資産

アクモスジャンクション

システム開発、医療SI・運用サービス ACMOSソーシングサービス株式会社

“進化と新領域の可能性追求、新規顧客開拓”を目指す

今回策定した中期経営計画は、現在の事業内容を柱としながらも、この三年で進化と新領域の可能性を追求し、新規顧客（病院）を開拓していくことを基本戦略とし、『当社の「売り」を作る』『営業志向型体制の構築』『新規顧客（病院）・プロジェクト獲得』をスローガンとしました。

一年目となる今期は、以下3つを重要目標として掲げ、業務にまい進してまいります。

- 1) 人材の技術力向上と増員
 - ・資格取得や育成による人材の技術力向上と、経験者の採用推進
- 2) 営業の推進と拡大
 - ・営業推進体制の構築による、戦略的営業展開の実現
- 3) 顧客満足度の向上と提案力強化
 - ・顧客のニーズを汲み取り、顧客の想定以上の提案を行う

■ ACMOSソーシングサービス株式会社
 ■ 所在地 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-26-8 野村不動産神田小川町ビル4階
 ■ URL : <http://www.acmos-ss.jp/> ■ 電話 : 03-5217-3332 FAX : 03-5217-3334



情報処理・BPOサービス 株式会社ジイズスタッフ

お客様・社員との真のパートナーシップを築く

中期計画の初年度である今期は、計画達成に向けて重要な事業年度と認識しています。

社員の採用や新たな設備の導入などを予定しており、「お客様・社員との真のパートナーシップ」というスローガンのもとで、市場の変化に対応した当社の進化に向けてお客様に感動を与える価値あるサービスを創出し提供できるように取り組みを進めてまいります。

重点戦略は以下の3つです。

- 1) アンケート（マークシート、WEB）事業の強化
 - ・培ってきた業務経験・ノウハウを、高度化・平準化し、事業として強化
- 2) 事務局代行事業の強化
 - ・役員選挙や模擬試験などの運営事務局業務をパッケージ化してサービス展開
- 3) PULL型、PUSH型を併用した戦略的な営業強化
 - ・サービス品目ごとのWEBサイト設置による集客に加え、営業担当者を選任し商品サービスターゲットへの営業を行う

PULL型・PUSH型営業：営業手法の1つ。広告等で引きを待つのが「PULL型」、ターゲットに対し直接的にアプローチをかけるのが「PUSH型」となる。

■ 株式会社ジイズスタッフ
 ■ 所在地 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-26-8 野村不動産神田小川町ビル3階
 ■ URL : <http://www.gstf.jp/> ■ 電話 : 03-5217-3131 FAX : 03-5217-3134



アクモスジャンクション

業務系アプリケーション開発、地図情報提供サービス ASロカス株式会社

中期経営計画では、営業力向上と開発体制の強化を図り、より高難易度の案件への取り組みを目指すとともに、アクモス株式会社のシステムインテグレーションと当社のGISソリューションを活用したスマートデバイス対応製品を開発・展開してまいります。

注目事業紹介

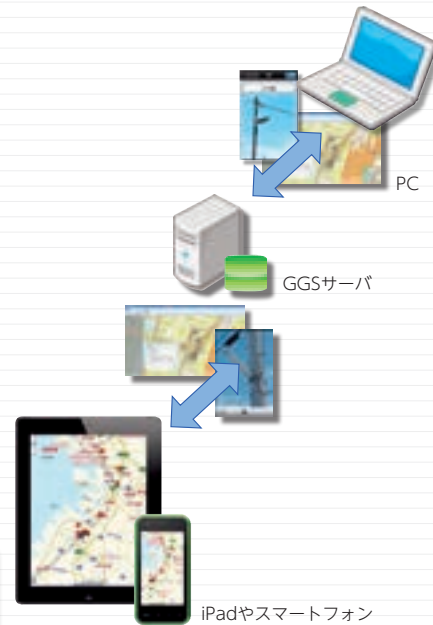
Webアプリケーション「GGS for スマートデバイス」でGIS技術の業務利用を推進

インターネットを利用した電子地図情報が誰でも自由に利用できるようになった現在、ユーザは「GIS」を意識することなく地理空間情報を日常的に利用しています。

一方で、業務的に地理空間情報を提供・共有しようとする場合は、未だ専門知識と技術を必要とするシステムが主流であり、一般的なPCスキルで利用できるGIS製品へのニーズが高まっています。

【GGS for スマートデバイス】は、このようなニーズに対応した汎用WebGIS製品です。PCをはじめ、スマートフォンやiPadなどのスマートデバイスにも対応しているため、屋外での現地調査業務（舗装状況、不動産など）に威力を発揮すること、インターフェースが使いやすく、ワードやエクセル感覚で利用できることが特長となっています。汎用性が高く、災害時情報システム、要介護者支援システム、営業支援システムなど、多方面での応用が可能のため、様々なお客様の業務に最適なソリューションを提案していきたいと考えています。

GIS：地理情報システム。地理的位置を手がかりに、位置に関する情報を持ったデータ（空間データ）を総合的に管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にする技術。



■ ASロカス株式会社
■ 所在地 〒290-0056 千葉県市原市五井3926-1
■ URL : <http://www.as-locus.jp/> ■ 電話 : 0436-24-0374 FAX : 0436-24-2116

IT製品のテストング 株式会社エクスカル

中期経営計画では、「収益基盤の安定化」「将来の成長の種の探索と育成」をテーマに、規格認証サービスの価値向上や、新規事業の育成を通して、収益力の安定を図っていきます。

注目事業紹介

ECHONET Liteテストツール「えねっとくん」で省エネ・創エネ社会へ貢献する

従来の創エネ・省エネ住宅から更に一歩進んで、エネルギーの需給バランスを管理・最適化するシステムを備えた住宅、いわゆる「スマートハウス」の普及に向けた取り組みが我が国でも着実に進んでいます。

2013年に株式会社エクスカルは、日本の大手電機メーカーが中心になって設立したエコーネットコンソーシアムから、ECHONET及びスマートハウス向けの通信プロトコル規格ECHONET Lite機器の規格適合性認証機関として認定されました。

またエクスカルはECHONET Lite製品の認証業務だけではなく、メーカー向けにパートナー企業と共同開発したテストツール「えねっとくん」の販売や「えねっとくん」を使ったさまざまな検証サービスも行っています。

その一つの例が、当社の独自性と専門性を活かした無線LAN製品のテストです。昨今の家庭への無線LANの普及は目を瞠めるものがあります。無線LANの利用増加が見込まれるスマートハウス業界にも当社独自のサービスが利用されることを目指しています。

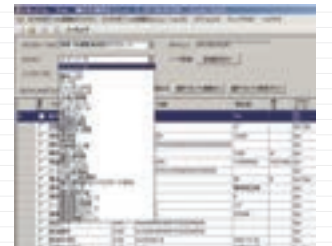
ECHONET Lite事業を契機に、当社では新たな参入分野として省エネや創エネ、エネルギー管理ビジネスに携わるお客様に当社の試験サービスを提供してまいります。

ECHONET Lite：スマートハウス向けのシステムをマルチベンダで構築・相互接続することを目指した、通信プロトコル。冷蔵庫やエアコンなどの各種機器がこのプロトコル上で相互に通信し、情報の交換・機器制御を行う。

えねっとくん：ECHONET Liteのテストツール。Windows上で動作する、ECHONET Lite機器の開発時に必要なテストをTCP/IP上で行うテストツールアプリケーション。

※「えねっとくん」の開発元はリコーITソリューションズ株式会社です。

■ 株式会社エクスカル
■ 所在地 〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134番地 横浜ビジネスパークウエストタワー14階
■ URL : <http://www.xxcal.co.jp/> ■ 電話 : 045-332-7333 FAX : 045-332-7444



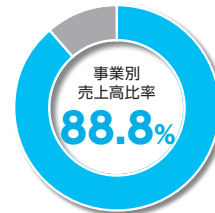
※エクスカルは、エコーネットコンソーシアムより規格適合性認証機関として認定された、ECHONET・ECHONET Lite機器の認定認証機関です。

セグメント情報

アクモスグループは、お客様に感動していただけるプロフェッショナルなサービスを提供いたします。

ITソリューション事業

事業別売上高 **24億30百万円**



アクモス株式会社とACMOSソーシングサービス株式会社はSI・システム開発のフィールドにおいて、ASロカス株式会社は業務系アプリケーション開発と地図情報提供サービスのフィールドにおいて、お客様の様々なニーズに対し、最適なITソリューションを提供しております。

第22期の状況

制御系システム開発分野の受注の落ち込み、発注金額の抑制傾向継続などにより売上高が前期比で8.2%減少。プロジェクト単位の業務管理強化、外注費の抑制、研究開発費の減少などにより、営業費用（製造原価と販管費の合計）は229百万円減少しました。

アクモスにおいて、SI製品の共通ブランドとして『SYMPROBUS』の使用を開始。『SYMPROBUS』Fシリーズ、消防通信指令システムの受注活動を促進。消防受注案件において工事進行基準売上44百万円を計上しています。

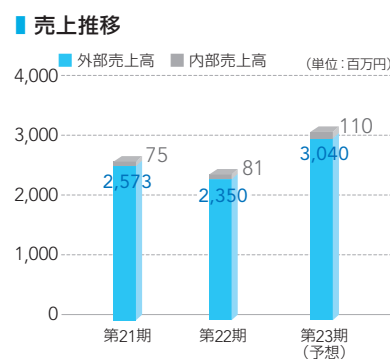
ASロカスが吸収分割により他社事業を承継。当期第3四半期より開業準備を進め、2013年6月に事業を開始しました。

以上の結果、売上高は2,430百万円、営業損失10百万円となりました。

今後の方針

既存事業の収益力強化と、成長分野の取り込みにより、低下した収益力を回復させるべく、事業の再生を図ってまいります。

安定が見込める運用を中心とした分野へ注力し、また、新たに加わったASロカスのスマートデバイス向けのGISソリューション開発等の事業との連携も深めてまいります。



アクモス株式会社

ソーシャルソリューション事業部

- 消防通信指令システム
- CTI
- GIS
- スマートデバイス

事業本部

- IT基盤設計・構築
- SI・ソフトウェア開発
- システム運用・保守
公共
産業・製造系 企業
医療機関など

ASロカス株式会社

- 業務系アプリケーション開発
- 地図情報提供サービス

ACMOSソーシングサービス株式会社

- 病院システム運用開発
- 業務系、基幹系システム開発
- ヘルプデスク

株式会社ジイズスタッフ

- 情報処理サービス
- BPOサービス

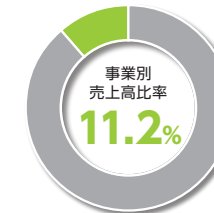
株式会社エクスカル

- 規格認証サービス
- 第三者検証サービス
- ユーザビリティ

- ◆ 単体ITソリューション群
- ITソリューショングループ企業
- ITサービスグループ企業

ITサービス事業

事業別売上高 **3億7百万円**



株式会社ジイズスタッフは情報処理・BPOサービス、株式会社エクスカルはIT製品のテストのフィールドにおいて、お客様の様々なニーズに対し、最適なITサービスを提供しております。

第22期の状況

情報処理・BPOサービスは、新規顧客の開拓が進むも売上規模は少額、既存顧客からの価格引き下げ要望が強くなっているものの、売上高は前期比で0.7%増加と前期の水準を維持。

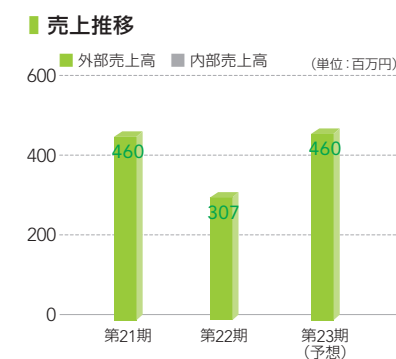
IT製品のテストは、従来より当社と米国企業が50%ずつ株式を保持していましたが、当期第2四半期より持分法対象会社となり、当期末において全株式を譲受け、100%連結子会社としております。

以上の結果、売上高は307百万円、営業利益26百万円となりました。

今後の方針

情報処理サービス分野では、採用と教育を進め社内体制を強化するとともに、既存案件から展開できる新たな顧客開拓を目指し、情報やデータに関わる業務のアウトソーシングサービスの拡充に努め、受注拡大を目指します。

IT製品の検証サービス分野は、国内電機メーカーを中心とした顧客の事業環境の厳しさが続いていますが、規格認証分野の顧客に加え、無線LAN機器の検証サービスや新規事業であるECHONET Lite規格に関連するサービスの受注により売上拡大を目指しております。



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	第21期 2012年6月30日現在	第22期 2013年6月30日現在
資産の部		
流動資産	1,701,664	1,713,021
固定資産	515,515	602,840
有形固定資産	188,872	249,966
無形固定資産	257,685	278,668
投資その他の資産	68,957	74,204
資産合計	2,217,180	2,315,861
負債の部		
流動負債	496,154	619,920
固定負債	137,152	203,964
負債合計	633,307	823,885
純資産の部		
株主資本	1,507,182	1,485,318
資本金	693,250	693,250
資本剰余金	1,176,282	1,176,282
利益剰余金	△ 308,438	△ 330,302
自己株式	△ 53,911	△ 53,911
その他の包括利益累計額	3,063	6,657
少数株主持分	73,626	—
純資産合計	1,583,872	1,491,976
負債純資産合計	2,217,180	2,315,861

Point 1 資産の部

ASロカス株式会社が吸収分割で他社事業を承継したことにより、ASロカス株式会社が受け入れた資産124百万円、のれんの計上40百万円に対し現金の支出64百万円があった影響で資産が増加しています。

流動資産の増加の主な理由は、受取手形及び売掛金38百万円、前払費用27百万円、未収入金10百万円の増加、現金及び預金70百万円の減少によるものです。

有形固定資産の増加の主な理由は、工具器具備品73百万円の増加によるものです。

無形固定資産の増加の主な理由は、ソフトウェア37百万円の増加によるものです。

投資その他の資産の増加の主な理由は、投資有価証券7百万円の増加によるものです。

Point 2 負債の部

ASロカス株式会社が吸収分割で他社事業を承継したことにより、ASロカス株式会社が受け入れた負債100百万円の影響で負債が増加しています。

流動負債の増加の主な理由は、未払費用52百万円、未払金35百万円の増加によるものです。

固定負債の増加の主な理由は、退職給付引当金66百万円の増加によるものです。

Point 3 純資産の部

純資産の減少の主な理由は、当期純損失12百万円、配当金9百万円、株式会社エクスカルの株式追加取得により少数株主持分73百万円の減少があったことによるものです。

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	第21期 (自 2011年7月 1日 至 2012年6月30日)	第22期 (自 2012年7月 1日 至 2013年6月30日)
売上高	3,033,451	2,657,119
売上原価	2,047,898	1,802,995
売上総利益	985,553	854,124
販売費及び一般管理費	975,480	872,128
営業利益 (△損失)	10,073	△ 18,003
営業外収益	26,797	16,463
営業外費用	5,188	22,688
経常利益 (△損失)	31,682	△ 24,228
特別利益	0	37,020
特別損失	20,858	559
税金等調整前当期純利益	10,823	12,233
法人税等	14,388	29,946
少数株主損益調整前当期純損失	3,564	17,713
少数株主損失	19,617	5,548
当期純利益 (△損失)	16,052	△ 12,164

Point 連結損益計算書

前期には茨城県から受託した平成23年度ひとり親家庭等在宅就労支援事業の売上230百万円があったこと、当期は制御系システム開発分野の受注が落ち込んだことにより、売上高は前期比で減少しています。ITソリューション事業にて、業務管理強化、外注費抑制、研究開発費の減少等により、前期比で営業費用(売上原価と販売費及び一般管理費の合計)が229百万円減少しています。営業外収益の主な内訳は助成金収入10百万円、営業外費用の主な内訳は吸収分割により他社事業を承継したASロカス株式会社の事業準備費用10百万円、特別利益の主な内訳は株式会社エクスカルの株式取得に係る負ののれん発生益37百万円となっております。

連結包括利益計算書

(単位：千円)

科目	第21期 (自 2011年7月 1日 至 2012年6月30日)	第22期 (自 2012年7月 1日 至 2013年6月30日)
少数株主損益調整前当期純損失	3,564	17,713
その他の包括利益	614	3,593
包括利益 (△損失)	△ 2,949	△ 14,119
(内訳) 親会社株主に係る包括利益	16,667	△ 8,570
少数株主に係る包括利益	△ 19,617	△ 5,548

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	第21期 (自 2011年7月 1日 至 2012年6月30日)	第22期 (自 2012年7月 1日 至 2013年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	57,865	102,783
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 43,040	△ 83,775
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 39,778	△ 56,044
現金及び現金同等物の増減額	△ 24,953	※ △ 55,825
現金及び現金同等物の期首残高	1,077,169	1,052,216
現金及び現金同等物の期末残高	1,052,216	996,390

※株式会社エクスカルが、第2四半期期首において連結除外となったことによる減少額△57,061千円、同社が当期末に連結対象会社となったことに伴う増加額38,273千円を含んでおります。

Point 連結キャッシュ・フロー計算書

(営業活動によるキャッシュ・フロー)
税金等調整前当期純利益12百万円、負ののれん発生益37百万円、その他資産の増加21百万円、減価償却費30百万円、のれん償却費56百万円、その他負債の増加83百万円などによるものです。
(投資活動によるキャッシュ・フロー)
ASロカス株式会社の吸収分割により支出した64百万円、株式会社エクスカルの株式の追加取得による支出23百万円によるものです。
(財務活動によるキャッシュ・フロー)
長期借入金の返済による支出56百万円、配当金の支払9百万円によるものです。

アンケート結果報告

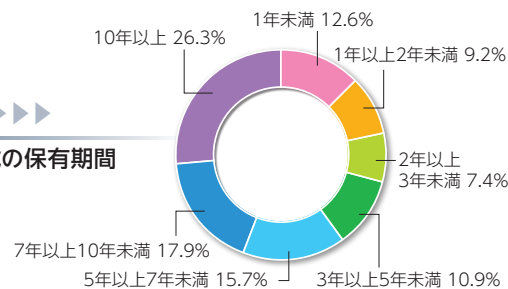
アンケート御礼

2012年秋発行のアクモスハイウェイに同封の「株主さまアンケート」につきまして、多くのみなさまから貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございました。

アンケート実施概要
 実施期間：2012年9月27日～2012年10月31日
 ご回答いただいた株主さま 538名 (全体の13.6%)

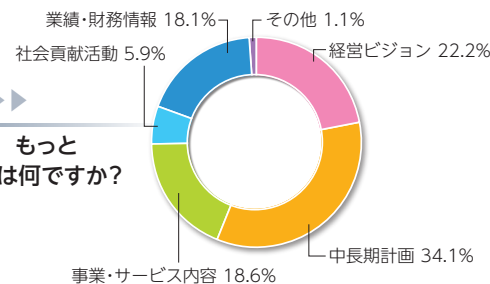
Q1

当社の株式の保有期間



Q3

当社に関して、もっと知りたい情報は何か？
(複数回答可)



アンケートへのご協力をお願いいたします

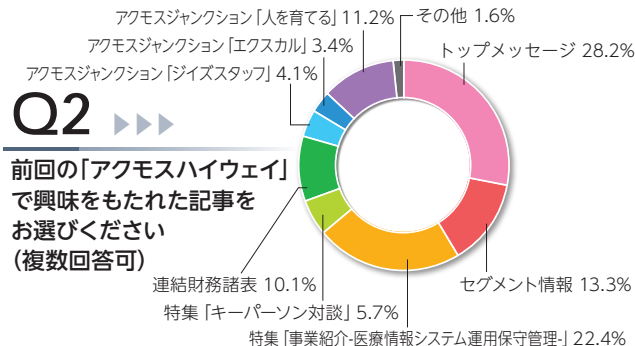
当社では、株主のみなさまとのコミュニケーション充実を図るため、毎年、株主さまアンケートを実施しています。いただいたご意見・ご要望は、経営やIR活動の参考とさせていただきますので、本年もご協力のほど、よろしくをお願いいたします。

アンケート締切日：2013年10月31日 (消印有効)

なお、ご協力いただいた方の中から抽選で300名様に、特定非営利法人ピースウィンズ・ジャパンのフェアトレード商品をお送りいたします。

Q2

前回の「アクモスハイウェイ」で興味をもたれた記事をお選びください
(複数回答可)



株主さまからのご意見

- ・御社の成長を大いに望みます。アクモスブランドに期待しています。(60代 男性)
- ・売上高、営業利益等なかなかよくなる。安定して利益の上がる事業を確立してほしい。(40代 男性)
- ・将来性に期待して持続して持ち続けています。含み損はもちろんです、頑張してほしいと思っています。(50代 女性)

社会貢献活動報告

当社が株主さまアンケートの謝礼品購入や募金を通して活動支援を行っている特定非営利法人ピースウィンズ・ジャパンから、当社が募金寄付により支援を続けている南スーダンでの活動レポートをいただきました。

南スーダン支援レポート：人びとの健康を支える診療所を整備

ピースウィンズ・ジャパンは2006年より南スーダンで、紛争後に故郷に帰る人びとが安定した暮らしができるよう、井戸建設など水・衛生支援を続けています。2013年は、ジョングレイ州アウッド郡にて、住民が衛生的に医療を受けられるよう、既存の診療所に新棟を建設することにしました。既存の診療所は、トタン屋根で防水シートを使った仮設の建物で、医療施設に求められる衛生レベルを満たすにはほど遠い状態にありました。この地域には他に医療施設がないため、様々な病気の患者も訪れており、この地域の住民にとっては欠かすことができない施設となっていました。

2013年5月、診療所は無事完成し、アウッド郡郡長や酋長などの立会いの下、引渡し式を行いました。ピースウィンズ・ジャパンは、今後もジョングレイ州の人びとの生活改善に寄与していきたいと思っております。



支援前の施術室の様子



完成した診療所

会社概要 / 株式の状況

■ 会社の概況 (2013年(平成25年)6月30日現在)

商号	アクモス株式会社
設立	1991年8月23日
資本金	6億9,325万円
社員数	連結321名 (単体221名)
主な事業	・ITソリューション IT基盤設計・構築 SI・ソフト開発 システム運用・保守 業務系アプリケーション開発 地図情報提供サービス ・ITサービス 情報処理 検証・評価・認証

■ 役員及び執行役員の状況 (2013年(平成25年)9月26日現在)

代表取締役社長	飯島 秀 幸	常務執行役員	上 野 隆
取締役相談役	宮 本 治	執行役員	深 作 耕 一
取締役専務執行役員	佐 藤 修 一	執行役員	鈴 木 伸 昌
取締役常務執行役員	石 川 稔	執行役員	清 川 明 宏
取締役(社外)	柴 田 洋 一	執行役員	中 川 智 章
取締役(社外)	荻 原 啓 一	執行役員	米 川 渡
監査役(常勤)	西 山 達 男		
監査役(非常勤)	星 野 隆 宏		
監査役(非常勤)	平 野 喜久臣		
監査役(非常勤)	金 子 登志雄		

※取締役及び監査役については、第22回定時株主総会終了後の状況を記載しております。

■ 主な事業所 (2013年(平成25年)6月30日現在)

本社	〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8 野村不動産神田小川町ビル TEL：03-5217-3121
茨城本部	〒319-1112 茨城県那珂郡東海村村松2713番地7 TEL：029-270-5555
つくば事業所	〒300-0847 茨城県土浦市御町一丁目1番1号 関鉄つくばビル2F TEL：029-834-3391

■ 株式の状況 (2013年(平成25年)6月30日現在)

発行可能株式総数	323,000 株
発行済株式総数	102,154 株
議決権を有する株主数	3,761 名
上位10名の株主の状況	

株主名	持株数(株)
コンセーユ・ティ・アイ株式会社	19,050
飯島秀幸	10,764
宮本治	4,455
アクモスグループ社員持株会	3,234
星川輝	2,337
株式会社ベンチャー総研	2,000
松井証券株式会社	1,636
岡田隆裕	1,265
新保幸男	1,250
金子登志雄	960

※自己株式を除く発行済株式総数の上位10名の株主を記載しております。

株式分割実施及び単元株制度採用のお知らせ

全国証券取引所が公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨を踏まえ、証券市場の利便性・流動性の向上に資するため、当社普通株式1株を100株とする株式分割を実施し、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用いたしました。

《概要》

- ・基準日：2013年6月30日
- ・効力発生日：2013年7月1日
- ・株式売買単位：1株 ⇒ 100株
- ・発行済株式総数：102,154株 ⇒ 10,215,400株

なお、この株式分割及び単元株制度の採用に伴う、投資単位の実質的な変更はございません。

■ 株主メモ

事業年度	7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月下旬
公告方法	電子公告 http://www.acmos.co.jp/ir/brief_note.html (電子公告により行なうことが事故その他やむをえない事情によりできない場合には、日本経済新聞に掲載して行ないます。)
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

■ 株式事務関係のお問い合わせ

お問い合わせ先・ 郵便物送付先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部テレフォンセンター 電話0120-232-711 (通話料無料) 受付時間 土日祝日を除く 9:00-17:00 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
--------------------	--

- 株券の電子化に伴い、株主様の住所変更、その他の各種手続きについては、原則として、証券取引口座を開設されている証券会社等で承ることになっております。
- 特別口座に記録された株式の各種手続きについては、三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレフォンセンターにお問い合わせください。



本社
〒101-0052
東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8
野村不動産神田小川町ビル
TEL : 03-5217-3121
FAX : 03-5217-3122



JR東海駅より車で10分

茨城本部
〒319-1112
茨城県那珂郡東海村村松2713番地7
TEL : 029-270-5555
FAX : 029-270-5531

UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

アクモスハイウェイは
環境に配慮して制作しています。



グリーン電力で印刷しています。



環境に配慮した用紙、インクを採用
しています。



アクモス 株式会社

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8 野村不動産神田小川町ビル
TEL : 03-5217-3121 FAX : 03-5217-3122 <http://www.acmos.co.jp/>

JASDAQ 証券コード : 6888

編集・発行 アクモス株式会社 経営企画室
制作 宝印刷株式会社